

電気防食工 工法比較表対象技術選定表

令和8年2月現在

工法比較表対象技術
 新規対象技術(調査中)
 削除技

※「活用状況(本省)」欄にNETIS掲載期間内の大まかな活用件数を記す。☆=500件以上、◎=100件以上、○=50件以上、□=20件以上 (注)NETISホームページへ移動しない場合は、ファイルをダウンロードしてご使用ください。

整理番号	技術名	NETIS番号	A V G	アブストラクト	区分	分類1 Lv.1	分類1 Lv.2	分類1 Lv.3	分類1 Lv.4	技術の位置づけ	活用 効果 評価	活用 状況 (本 省) ※	掲載期間 終了技術 (終了時期)	生産供給体制(機械保有台数等)	備考	NETIS HP リンク先(注)
1	犠牲陽極材「ガルバシールド工法」	CB-020037	VG	ガルバシールド工法は塩害・中性化等で劣化したコンクリート構造物の鉄筋腐食を亜鉛との電気化学的作用により抑制し、レンダロックモルタルにて断面修復する工法です。	工法	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	断面修復工		評価済み	有	○ (H29年4月)	受注から納品まで2日程度(在庫保有の場合)			-
2	線状流電陽極方式電気防食工法	KT-180059	A	本技術は、コンクリート中の鋼材腐食に対し、線状の流電陽極ユニットを用いて防食する電気防食工法であり、従来は亜鉛シート方式電気防食工法(面状流電陽極方式)で対応していた。本技術の活用により、躯体の変状を目視観察可能となり、安全性の向上が図れた。	工法	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	防食対策工								https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-180059